

市有財産定期建物賃貸借契約書 (案)

貸付人新潟市（以下「甲」という。）と借受人▲▲（以下「乙」という。）とは、次の条項により市有財産について借地借家法（平成3年法律第90号。以下「法」という。）第38条の規定に基づく定期建物賃貸借権の設定を目的とした借家契約を締結する。

（貸付物件）

第1条 甲は、甲が所有する次の財産（以下「貸付物件」という。）を乙に貸し付け、乙はこれを借り受ける。

建物	施設名称	新潟市新津美術館
	所在地	新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109 番地 1
	貸付場所	喫茶室
	面積	10.53 m ²

（使用目的）

第2条 乙は、貸付物件を、喫茶室の用途に自ら供さなければならない。

2 乙は、前項の目的を変更しようとする場合は、書面により甲に申し出て、甲の承認を得なければならない。

3 乙は、貸付物件の使用にあたり、別紙に記載した使用条件を守らなければならない。

（貸付期間）

第3条 貸付期間は、令和3(2021)年8月10日（予定）から令和8(2026)年8月31日まで

（契約更新等）

第4条 本契約は、法38条の規定に基づくものであるから、法第26条、第28条及び第29条第1項並びに民法（明治29年法律第89号）第604条の規定は適用されないので、契約更新に係る権利は一切発生せず、前条に定める期間満了時において本契約の更新（更新の請求及び建物の使用の継続によるものを含む。）は行われず、貸付期間の延長も行われないものとする。

（貸付料）

第5条 貸付料は、令和3(2021)年8月10日（予定）から令和8(2026)年8月31日までの期間については、次に掲げるとおりとする。

年次	期間	貸付料の額
第1年次	令和3年8月10日から令和4年3月31日まで	▲円
第2年次	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	▲円
第3年次	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	▲円
第4年次	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	▲円
第5年次	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	▲円
第6年次	令和8年4月1日から令和8年8月31日まで	▲円

（貸付料の納付）

第6条 前条に定める貸付料は、次に定めるところにより甲の発行する納入通知書により納付しなければならない。

年次	納付金額	納付期限
第1年次	▲円	契約締結日から30日以内
第2年次	▲円	令和4年4月30日
第3年次	▲円	令和5年4月30日
第4年次	▲円	令和6年4月30日
第5年次	▲円	令和7年4月30日
第6年次	▲円	令和8年4月30日

※納付期限日が土曜・日曜の場合は、翌開庁日を納付期限日とする

（光熱水費等の負担）

第7条 使用財産に附帯する設備の使用に係る光熱水費等の実費について、甲の請求がある場合は、甲の定める方法により当該実費を支払わなければならない。

(遅延損害金)

第8条 乙は、第5条による貸付料、第7条による光熱水費及び第13条による違約金を甲が定める納入期限までに納入しない場合には、納入期限の翌日から納入した日までの期間について、新潟市公有財産規則(昭和59年規則第19号)で定める割合により算定した遅延損害金を甲に支払わなければならない。

(使用上の制限)

第9条 乙は、貸付物件について、第2条について規定する使用目的、利用計画及び事業計画の変更若しくは貸付物件の様態替え又は改造等により現状を変更(貸付物件の修繕及びその他軽微な変更を除く。)しようとする場合、事前に変更する理由及び変更後の目的等を書面によって甲に申請し、その承認を受けなければならない。

2 前項に基づく甲の承認は、書面によるものとする。

(権利譲渡等)

第10条 乙は、貸付物件の賃借権を第三者に譲渡し又は貸付物件を第三者に転貸してはならない。

(物件保全義務)

第11条 乙は、善良な管理者としての注意をもって貸付物件の維持保全につとめなければならない。

(実地調査等)

第12条 甲は、次の各号の一に該当する事由が生じたときは、乙に対し実地調査し又は参考となるべき資料その他の報告を求めることができる。この場合において、乙は調査等を拒み、妨げ又は怠ってはならない。

(1) 第5条に定める貸付料の納付がないとき

(2) 第9条に定める甲の承認を受けなかったとき

(違約金)

第13条 乙は、第5条第1項に定める貸付期間中に、次の各号に定める事由が生じたときは、それぞれ当該各号に定める金額を違約金として甲に支払わなければならない。

(1) 第2条又は第10条に定める義務に違反又は第14条の2に該当した場合は、金▲円

(2) 第9条第1項又は第12条に定める義務に違反した場合は、金▲円

2 前項に定める違約金は、第17条に定める損害賠償額の予定又はその一部と解釈しない。

(契約解除)

第14条 甲は、次の各号の一に該当する場合は、催告を要することなくこの契約を解除することができる。

(1) 甲が貸付物件を公用又は公共の用に供するため必要とするとき。

(2) 乙がこの契約に定める義務に違反したとき。

(暴力団排除措置による契約解除)

第14条の2 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合は、催告を要することなく契約を解除することができる。この場合において、解除により乙に損害があっても、甲はその損害の賠償の責任を負わないものとする。

(1) 暴力団又は暴力団員(新潟市暴力団排除条例(平成24年新潟市条例第61号)第2条第2号に規定する暴力団又は同条第3号に規定する暴力団員をいう。(以下「暴力団員等」という。以下この項において同じ。))であると認められる場合

(2) 役員等(乙が個人である場合にはその者を、乙が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは営業所の代表者その他これらと同等の責任を有する者をいい、法人以外の団体である場合は代表者、理事その他これらと同等の責任を有する者をいう。以下この項において同じ。)が暴力団員等であると認められる場合

(3) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる場合

(4) 役員等が自己、その属する法人その他の団体若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって暴力団員等を利用したと認められる場合

(5) 役員等が、暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められる場合

(6) 役員等が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すると認められる場合
(原状回復等)

第15条 乙は、第3条に定める貸付期間が満了したとき又は前条の規定により本契約が解除されたときは、貸付物件を原状に回復して甲の指定する期日までに返還しなければならない。ただし、再契約のほか、甲が指示した場合にはこの限りでない。

(貸付料の精算)

第16条 甲は、本契約が解除された場合には、既納の貸付料を日割でもって精算し、未経過期間に係る貸付料を乙に返還する。

(損害賠償)

第17条 乙が、本契約に定める義務を履行しないため甲に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。

(有益費などの放棄)

第18条 乙は第3条に規定した貸付期間が満了した場合又は第14条第2号の規定により契約が解除された場合において、乙が支出した必要経費及び有益費等については、甲に対してその償還の請求をすることができない。

(連帯保証人)

下記枠内から選択する	
①連帯保証人が個人の場合	(連帯保証契約) 第19条 連帯保証人は、甲に対し、乙が本契約上負担する一切の債務を極度額▲万円の範囲内で連帯して保証する。
②連帯保証人が法人の場合	(連帯保証契約) 第19条 連帯保証人は、甲に対し、乙が本契約上負担する一切の債務を連帯して保証する。

(信義誠実等の義務・疑義の決定)

第20条 甲及び乙は、信義を重んじ、誠実に本契約を履行しなければならない。

2 乙は貸付物件が市有財産であることを常に考慮し、適切に使用するように留意しなければならない。

3 本契約に関し疑義があるときは、甲乙協議のうえ決定する。

(裁判管轄)

第21条 本契約に関する訴えの管轄は、新潟市を管轄区域とする新潟地方裁判所とする。

(特約又は特例等の措置)

第22条 令和6年以降、天井改修工事のため3か月～半年休館予定となっており貸付料については、天井改修工事に伴う休館期間中は免除することとし、日割りで算出する。

上記の契約の締結を証するため本契約書2通を作成し、両者記名押印の上、各自その1通を保有する。

令和3年8月▲日

貸付人 (甲) 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市長 中原 八一

借受人 (乙) 住所 ▲▲
氏名 ▲▲ 印

連帯保証人 住所 ▲▲
氏名 ▲▲ 印

別紙 使用条件

乙は、貸付物件の使用にあたり、次の事項を守らなければならない。

(1) 営業日時

美術館の開館日及び開館時間に準じます。

ただし、展覧会の開場式など、休館日に営業をお願いする場合があります。

(営業時間の短縮については、協議に応じます。)

(2) 営業内容

- ・美術館のイメージを損なわないメニューの提供をお願いいたします。
- ・施設と一体で換気扇がないため調理はできません。
- ・オープン等の加熱は可能ですが、電子レンジ等の音がするものは使用しないでください。 ※トーストやサンドイッチは可能です。
- ・電気器具を使用される場合は各自でご用意ください。
- ・メニューの内容については協議が必要です。(変更の場合も同様です。)

(3) 美術館活動への協力

- ・企画展等の催しに合わせ特別メニューを提供するなど、可能な限り館の活動に協力し、館全体のイメージアップに協力してください。
- ・カフェの魅力が来館目的のひとつとなるよう努め、来館者からの声には謙虚に耳を傾けてください。

(4) 貸付料

①貸付料の提案について

年額貸付料は「貸付料価格提案書」にて提案された価格を基に定めます。

②納付について

貸付料は、本市が発行する納入通知書により、本市の指定する期日までに支払うものとします。なお、貸付期間が1年に満たない期間については、1年を365日とする日割り計算により期間中の貸付料を算定します。

(5) 経費負担

①光熱水費実費相当額等

②市が用意するもの以外に必要な厨房設備、備品などの什器類

※市の貸し出し可能備品

冷蔵庫、冷凍庫、製氷機、食器洗浄乾燥機

(6) 損害保険

出店者は損害保険契約(借家人賠償)に加入してください。

(7) 開店日

令和3年8月10日(予定)に引き渡しの後、令和3年9月4日から営業を開始してください。(協議の上で引渡し日の変更は可能です。その場合は貸付料を調整します。)

(8) 転貸など

転貸や権利の譲渡は禁止します。

(9) 問合せ及び緊急連絡先

カフェへの問い合わせ及び苦情については、出店者の責任において対応し、必要に応じて美術館へ報告してください。また、出店者不在時における緊急時等の連絡先をあらかじめ美術館に届けておいてください。

(10) 名称、看板等

カフェの名称は提案していただき、美術館と協議の上で決定するものとします。名称と設置する看板類（デザイン含む）は、美術館のイメージにふさわしいものとしてください。

(11) 内装工事

原則として、床、壁、天井等の建築物、電気設備、衛生設備、空調設備などの改修工事はできません。

(12) 現金等の管理

釣銭等の現金や商品等については、出店者の責任において管理してください。

(13) 定期点検等への協力

休館日に館内設備の定期点検等のため喫茶室内に作業員が入室して作業を行う場合がありますので、その際は必要な協力をしてください。

(14) 連帯保証人

契約締結にあたっては、市の認める連帯保証人を立ててください。

※参考 新潟市公有財産事務取扱要領

第6節

第2

1 連帯保証人の要件

財産規則第41条第1項の規定による連帯保証人は、次の各号のいずれかに該当する者を有資格者とする。

(1) 市内に居住し、引き続き2年以上の間、固定資産税年額10,000円以上を納めている者

○確認方法の例…納税証明書等

(2) 市内に居住し、固定した収入をもって独立の生計を営む者

○確認方法の例…所得証明書等

(3) 市内に事務所を有し、当該債務の保証能力を有する団体

○確認方法の例…財務諸表等の経営関係資料、法人登記簿など

(4) 前各号によるもののほか、財産経営推進担当部長が適当と認めた者

(15) 計画変更の事前承認

計画した営業内容を変更する場合には、美術館と協議し、承認を得る必要があります。

なお、提出いただく「出店企画書」で示された提案の全てを了承するものではありません。個々の事項は、出店者を決定後、改めて協議します。

(16) 貸付終了時の留意事項

貸付期間の満了または契約の解除により貸付を終了するときは、速やかに原状回復してください。また、美術館に対し、原状回復に要した費用、カフェの設置に伴い支出した費用、その他一切の費用について、補償を請求することはできません。

貸付期間の途中で契約を解除する意向がある場合、貸付終了日の4カ月前までに、その旨について美術館への通知が必要となります。